

富津市公民館運営審議会会議録

1 会議の名称	令和5年度第4回富津市公民館運営審議会
2 開催日時	令和6年3月26日(火) 午後2時00分～午後3時04分
3 開催場所	富津市中央公民館
4 審議等事項	○報告 (1)「いろは学遊館(埼玉県志木市)」の視察報告について (2)第75回公民館研究大会の参加報告について (3)令和6年度公民館学級・講座について ○議題 (1)富津埋立記念館の活用案について
5 出席者名	○委員(13名) 川名 泰、渡邊 直樹、長嶋 恵、大河原 紀子、藤井 和子、山中 正八、寺内 一朗、千明 洋子、牟田 東枝、齋藤 公宏、石井 光一、大野 泰代、當眞 嗣史 ○事務局(7名) 長谷川公民館長、樋口生涯学習課長、岩田中央公民館係長、茂木富津公民館係長、堀越市民会館係長、平野社会教育主事、竹谷社会教育指導員
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人(定員 5人)
9 所管課	教育部公民館中央公民館 電話 0439-65-2251
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり

富津市公民館運営審議会会議録

発言者	発言内容
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日は、お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます、中央公民館係長の岩田です。よろしくお願いいたします。</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条第1項の規定により公開となります。そのため、後ほど会議録署名人2名を決めていただきたいと思います。また、会議録作成のため、会議内容を録音させていただきますので、ご了承ください。</p> <p>本日の出欠状況につきましては、出席委員13名、欠席委員2名でございます。過半数以上の出席になりますので、「富津市公民館及び市民会館の設置及び管理等に関する条例施行規則」第31条の規定により、会議は成立いたします。</p> <p>それでは、ただ今より、令和5年度第4回富津市公民館運営審議会を開会いたします。次第にしたがいまして、「2. 委員長あいさつ」ということで、川名委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>川名委員長</p>	<p>(委員長あいさつ)</p>
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、これより川名委員長を議長として議事進行をお願いいたします。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは議案に入る前に、会議録署名人2名の選出ですが、慣例により、委員長から指名することによろしい</p>

<p>各委員</p> <p>(議長)</p> <p>川名委員長</p>	<p>でしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>それでは、会議録署名人は千明委員と寺内委員にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、最初に報告事項ですが、「報告（１）いろは遊学館の視察報告について」、「報告（２）第75回公民館研究大会の参加報告について」は、私が参加してきましたので、簡単に報告させていただきます。</p> <p>○報告（１）いろは遊学館の視察報告について</p> <p>1月24日に君津地方公民館連絡協議会館長部会と君津地方公民館運営審議会連絡協議会の合同研修会で、埼玉県志木市のいろは遊学館へ視察に伺いました。</p> <p>21世紀の教育改革を目指す学社融合施設いろは遊学館は、同一の建物内にある公民館・図書館・小学校が連携して諸事業を展開しておりました。</p> <p>なぜこの複合施設なのかと申しますと、子どもたちを地域ぐるみで育てていくコミュニティスクールを目指すとともに、地域におけるコミュニティ拠点を形成するため、地域に開かれた学校をつくること。また、学校の特別教室を有効に活用することで、全ての市民の生涯学習をより積極的に推進すること。加えて、期待できる教育効果としては子どもたちが自ら学び、自ら考える教育の推進を図るとともに、志木小学校と図書館・公民館との交流を通じて、子どもたちの学習体験活動を広げ、学校教育の社会化を展開していくこと。さらに、地域の方々が生涯学習の一環として施設を利用する中で、児童との交流が図られ児童・市民の教育に相乗効果が期待できるという点があります。以上4点の理由によるものだ</p>
-------------------------------------	---

そうです。

このように特徴は、生涯学習の拠点として施設を利用する市民等との直接的なふれあいを通して、子どもたちの知恵や知識と社会性を育み、特色ある教育が進められていることです。

そして、屋上も見学しましたら、太陽光発電や雨水を利用したエコスクールの機能やコンピュータネットワークの充実により、施設全てが優れた教材となっておりました。

感想といたしましては、学校と地域住民団体諸機関との相互連携の実践には、お話の中でも大変ご苦勞が伺えました。しかし、公民館の事業参加者数や施設利用率等の数値に公民館の存在や価値を求めがちな私たちへ社会教育を担う公民館の本来あるべき姿向かうべき方向を再認識させていただく貴重な機会をいただいたと考えております。

②第75回公民館研究大会の参加報告について

1月26日に君津市民文化ホールで行われ、実践報告として、千葉市生涯学習センターの野 哲也さんからオンライン配信のボランティア活動支援ということで報告がございました。

コロナ禍を経てボランティアをする方々にとっても、またボランティア活動を依頼する側にとっても、対面での講座イベントの開催は新型コロナの感染リスクが高くて自粛せざるを得ない状況にあったのですが、オンライン技術を活用したことでいろいろ実現していったということでありました。

もう1つの報告は、袖ヶ浦市根形公民館の小倉 康嗣さんから、地区の新成人たちが自分たちの育った根形地区や公民館の活動に協力したいという申し出をきっか

けに、将来の地域を担う仲間となる青少年が集い、交流し、ともに成長できる場と機会を設けるとともに、公民館を地域のキャンパスにするため、根形オープンキャンパスと名付けて事業をスタートさせたものです。

コロナ禍にあっても、スタッフから修学旅行の代わりに思い出を提供したいとの要望があつて、感染対策を行いながら対面でのイベントを開催できたという報告でした。

そして最後に、青山学院大学の伊藤 真木子教授から、これからの公民館活動に求められるものということで講演がありました。

新型コロナウイルスの蔓延状況は、社会教育・公民館の活動にも大きな影響を及ぼしてきました。ICT活用によって広がる新たな活動の可能性と、同時に直接会って交流することの重要性が改めて強く認識されるようになりました。

これからの公民館に求められるものは何かということでお話をいただきましたが、学ぶ技法の多様化ということで、先ほどの千葉市のオンライン事業報告のように公民館に来てもらわなくてもいろいろな形でできるのではないかというヒントを得ました。

それから、公民館へ来ることが困難な状況にある方や理解し合えなそうな方にも、公民館として手を差し伸べる方法も考えていかなければならないというように、顕在化した課題に対することについて、取り組んでいくために問われているのは、各館職員及び市民の自立性・自発性などではないかということでご講演いただきました。

いろいろなお話をいただきまして大変勉強になりました。報告は以上でございます。

<p>各委員</p> <p>(議長)</p> <p>川名委員長</p> <p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>それでは、皆さんの方から何かご意見やご質問があればお願いします。</p> <p>特になし</p> <p>それでは続きまして、「報告（３）令和６年度公民館学級・講座について」、事務局より報告をお願いします。</p> <p>報告３「令和６年度公民館学級・講座について」説明いたします。資料をご覧ください。</p> <p>こちらは、１２月に行った前回の公民館運営審議会でもいただいた意見を踏まえまして、公民館として令和６年度の主催教室・講座を決定しました。</p> <p>こちらの資料にありますとおり、中央公民館１５講座、富津公民館１３講座、市民会館１２講座の開催予定となっております。</p> <p>なお、資料に添付している公民館・市民会館だよりをご覧くださいまして、一部の講座につきましては、令和６年度の開催時期の関係から早急に募集をかける必要がありましたので、既にこのように３月の区長回覧で周知を図っております。</p> <p>また、この公民館・市民会館だよりは、今までは３館それぞれで発行しておりましたが、今回から３館で１つの公民館だよりとして発行しておりまして、こちらがその第１号となります。</p> <p>公民館だよりの名前も、公民館の基本的な役割であります「集う」「学ぶ」「結ぶ」という言葉の頭文字を取りまして、「つまむ」といたしました。</p> <p>今後は、２～３か月に１回の発行を予定しておりますので、今後ともぜひご一読いただければと思います。</p>
---	--

	<p>以上で報告を終了いたします。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは、事務局からの説明がありましたが、委員の皆様より質問などあればお願いします。</p>
<p>各委員</p>	<p>特になし</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、報告事項を終わります。続きまして議題に入ります。「議題(1) 富津埋立記念館の活用案について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>(富津埋立記念館に関する公民館連絡協議会の今年度の活動及び「富津埋立記念館～今後の活用方針～(案)について、資料に沿って読み上げ説明)」</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは、事務局からの説明がありましたが、委員の皆様より質問などはありますか。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>富津埋立記念館の受付ホールの上部は砲台をモチーフにしていると資料にありますが、どの砲台のことでしょうか。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>富津元洲堡壘砲台をイメージしていると聞いております。</p>
<p>(事務局) 長谷川公民館長</p>	<p>厳密に具体的なモデルの砲台は存在せず、あくめでイメージというものになります。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>資料2ページに「埋立てに先立って1, 402人が漁</p>

<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>業権を放棄することとなり、それらの元漁業者から寄贈された資料を後世に伝えるため、富津埋立記念館に展示することとなった。」とあり、当初開館した経緯はよくわかったのですが、今後も漁業関係の展示をメインにすることを踏襲していくのか、他の資料も展示していくのか方針としてはどうなっていますか。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>富津埋立記念館は基金で運営しており、その原資は漁業権を放棄した方となっております。この点を踏まえて、今後も継続的に漁業に関する展示を行うことを考えております。</p> <p>しかしながら、スケジュールの中でも少し触れているとおり、関係団体の調査と協議を行う中で、出てきた意見をもとに調整していきたいと考えております。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>富津埋立記念館の運営は、基金が割と大きな比重を占めて運営されているので、その基金に基づいた運営が主になるべきということですね。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>はいそのとおりです。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>基金はどのぐらいの額がありますか。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>今年度末の残高で、約3,200万円であり、年当たり運用費として約300万円を支出していくこととなります。</p> <p>基金は運用されて増える見込みはありますか。</p>

<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>預金の利子という形で年1,000円増える程度です。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>あと10年ほどで基金が底をつくということですね。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>富津埋立記念館は1館として独立した経営なのか、富津公民館の一部として位置づけなのでしょうか。</p>
<p>(事務局) 長谷川公民館長</p>	<p>富津埋立記念館の建物施設は、富津公民館の附属施設となっております。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>今までも話に出てきましたが、富津埋立記念館の展示について説明してくれる学芸員のような方がいないという点の改善策として、団体が来る時だけでも地元の漁師さんに説明をお願いするというような体制作りは考えていますか。</p>
<p>(事務局) 長谷川公民館長</p>	<p>資料5ページの課題として挙げておりますので、こちらの解消に向けて、6ページの活用方針として、今後取り組んでまいります。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>補足として資料8ページをご覧ください。中ほどの説明員の人材確保として、令和5年度の7月及び2月に富津埋立記念館の解説書を作成した方から、説明に関する研修を富津公民館職員が受けさせていただきました。</p> <p>今後につきましては、現状を踏まえてガイドボランティア養成講座などを実施したいと考えています。</p>

齋藤委員	どのような研修を実施しましたか。
(事務局) 茂木 富津公民館係長	富津埋立記念館には、子ども向けと一般向けの2つの展示解説書があり、それを作った方から具体的に展示物を前にしてどのように説明すればよいかの研修を行いました。
大野委員	<p>学芸員さんに説明を頼むとなると、その人件費がかかってしまいますよね。ですので、いまご存命の方で、展示してある漁具の説明ができる方がいらっしゃると思います。その方たちに見学があるときに毎回来てもらわなくても、説明をカセットテープなどに吹き込んで、来館者があったときに、公民館職員からブースごとに音声流す方法を案内すればよいと思います。</p> <p>立派な学芸員さんを頼んでやれば1番いいかもしれませんが、当面はそういった形で、なるべくお金をかけないで地元の方の協力を得る形で行ったらどうかと公民館の方へ提案を何回かしてあります。</p>
(事務局) 長谷川公民館長	貴重なご意見ありがとうございます。説明員としての職員の育成や、ボランティアの方々によるテープを用いた解説のご協力も含めて今後対応していきたいというふうに考えております。
(議長) 川名委員長	<p>各委員からご意見がでましたが、それを誰がやるのかというのが難題です。市職員の皆さんが、各分野で映像をホームページで公開しているように、漁業関係でも公開できるとよいと思います。</p> <p>小中学生を対象にするのであれば、1回きりではなく</p>

	<p>て、3回コースで鋸山・富津埋立記念館・東京湾観音と いろいろところを回る中で、その1つとして富津埋立記 念館で漁業について学んでもらうというように、富津埋 立記念館だけではなく、市全体を見通す視点も重要では ないでしょうか。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>富津埋立記念館は本日の資料をたたき台にしながら、 来年度の4回の会議で充実させていくということでは しょうか。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>基本はたたき台としますが、協議していく中で修正す べき点があれば、適宜対応してまいります。</p>
<p>寺内委員</p>	<p>富津埋立記念館の活用方針が確定したあかつきには、 市議会などへ提出する予定はありますか。</p>
<p>(事務局) 茂木 富津公民館係長</p>	<p>市議会への提出予定はありませんが、予算要求などの 資料として活用する予定です。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>議案は以上となりまして、続いて「5. その他」です が、連絡事項などあればお願いします。</p>
<p>(事務局) 平野 社会教育主事</p>	<p>その他ということで、「ちば講座アワード」の受賞に ついてご説明申し上げます。</p> <p>千葉県教育委員会の生涯学習に関する機関である「さ わやかちば県民プラザ」では、県内各市町村や大学・団 体が行っている特色ある取り組みを募集し、活動事例を データベースとして蓄積するとともに、優れた事業を表 彰する「ちば講座アワード」というものを実施しており ます。</p>

第5回となる今回は約20事業の応募があり、富津市中央公民館で夏休みに実施した「子ども鉄道教室」が、最優秀賞にあたる大賞に次ぎ、4つある特別賞のうち「千葉日報社長賞」を受賞させていただきました。

選考のプロセスとしましては、応募団体を2つのグループに分けて、相互審査・投票を行い、上位となったものから各審査員により大賞・特別賞が決定されました。

続いて、「子ども鉄道教室」について、概要をご説明いたします。

対象は小学生とその保護者、日時は7月30日(日)・8月19日(土)の2回立て、参加人数は定員30名のところ28名でございました。

教室のねらいとしましては、内房線のワンマン車両導入や久留里線の久留里駅上総亀山駅間の在り方に関する議論といった「地域公共交通の現状」、市内在住の鉄道ジャーナリストである梅原氏という「貴重な地域人材」、鉄道が好きな年齢が多い「子どもを対象」という要素を混ぜ込み、「子どもたちの鉄道への興味関心を伸ばしつつ、地域がかかえる公共交通の現状を理解してもらうこと」を念頭におき実施しました。

1回目は座学で鉄道に関する話について簡単な算数や理科など教科教育の要素を取り入れたもの、2回目は内房線及び久留里線へ講師とともに乗車し、鉄道施設や列車に関する説明やクイズを行いました。

このように本教室は、地域人材である鉄道ジャーナリストの梅原 淳氏を講師に招いたことや、地域の課題と子どもたちの興味を結びつけたこと、座学と館外学習の二本立てで実施したことが評価されました。

ちば講座アワードでは、審査員や他参加団体からのフィードバックをいただいたため、これを参考として引き

<p>(議長) 川名委員長</p> <p>各委員</p> <p>(議長) 川名委員長</p> <p>(事務局) 長谷川公民館長</p>	<p>続き市民の皆さんが学習する場を提供するために、工夫して業務に取り組んでまいります。</p> <p>説明は以上になります。</p> <p>ちば講座アワードの受賞おめでとうございます。</p> <p>将来の乗り鉄が生まれるような感じを受けました。ただいま、「ちば講座アワード」の授賞について説明がありましたが、委員の皆様より質問などあればお願いします。</p> <p>特になし</p> <p>その他に連絡事項はございますか。</p> <p>富津埋立記念館の活用案につきましては、この度指針(案)としてお示ししたところではありますが、直ぐに取り組めるアイデアとして、入館者へのウェルカムBGMとして「富津大漁節」を受付ホールで流し、おもてなしの1つとして準備を進めています。</p> <p>この発案は大野委員によるもので、あまり手間をかけずに早速に取り組めるものとして進めているものがあります。</p> <p>みなさまご存知と思いますが、入って直ぐのホール上のほうに、「大漁旗」を展示しています。このイメージに合うように、賑々しく、楽しく、おもてなしできるようになると思います。</p> <p>BGM作成にあたっては、先週末に大野委員を中心に「唄」の録音を行いました。現在CDを作成して準備を進めている段階です。準備が整い次第、BGMとして流</p>
---	---

	<p>す予定としています。</p> <p>富津埋立記念館の活用の1つとして、進めておりますので、ご報告いたします。以上です。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>この件について、聞きたいことはありますか。</p>
<p>各委員</p>	<p>特になし</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>その他に連絡事項はございますか。</p>
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>令和6年5月31日(金)午後3時から、君津市周西公民館で4市の公民館運営審議会総会が予定されております。</p> <p>事務局である君津市から総会開催の通知文が届いているかと思っておりますので、ご都合のつく方はご出席いただければと思います。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>その他に連絡事項はございますか。</p>
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>(令和6年4月1日付け人事異動について説明)</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>その他に連絡事項はございますか。</p>
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>次回の公民館運営審議会連絡協議会は、令和6年5月28日(火)午後2時中央公民館で開催予定です。</p>

	<p>この日程は、例年の開催時期を参考に決めさせていただきましたので、日程調整をお願いいたします。</p> <p>会議 1 か月前の 4 月下旬に改めて開催通知を出しますので、予定のご確認をお願いいたします。</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>その他に連絡事項はございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>特になし</p>
<p>(議長) 川名委員長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、進行を事務局へお返しします。</p> <p>皆様、議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。</p>
<p>(事務局) 岩田 中央公民館係長</p>	<p>長時間にわたるご審議をいただき、ありがとうございました。</p> <p>来年度の公民館運営審議会につきましても、引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、令和 5 年度第 4 回富津市公民館運営審議会を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>